

小短信

日本の現在 ～ 桜花前线 ～

到了三月,在天气预报里常常听到“樱花前线”这个词。所谓樱花前线,是把樱花的开花预测日在地图上表示出来的线,主要是从三月下旬至五月北上日本。最喜欢在盛开的樱花下摆宴“赏花”的日本人,通过天气预报来确认即将来临的樱花前线,不免心头激动。

以前,把气象厅发表的开花预测称为樱花前线,但是从去年2010年起,只有民营气象信息公司发表预测。民营公司想要比其他公司提高预测的精确度,猜中开花日,不只用传统的计算方法,还用新的方法预测开花日,例如:请日本各地的一般群众传来呈花苞状态的樱花照片等。最近还发生各家公司在预测日有差异而造成混乱,这么热心地关心樱花什么时候开花,恐怕只是日本才有的独特现象!

且说,在自下月号起开设的“日本的气象”栏里,我们将介绍有关日本四季气象的词语,务请期待。

传达心意的日语 ～ 传达意向的日语 ～

诸位来日本学习技术的同时,生活在异国文化社会中,想必非常辛苦。恐怕最为辛苦的就是语言问题吧。渡过语言障碍关并非易事。

学习技术·工作顺序等以及接受生活指导的时候,当技能实习指导员·生活指导员问:“懂了吗?”的时候,若不懂的话,就明确地说:“不懂”“什么?”“请再说一次”,这很重要。

若没听懂而回答“HA!”的话,对方认为已理解了,误解会引起大问题以及精神压力。

对于所有的事,请明确地传达自己的意向。这绝不是丢人的事。日本有句谚语:“求教是一时之耻,不问是终身之羞问”。即使日本人之间,沟通意向也很重要,为了沟通意向而彼此在努力。

ミニ情報

日本のいま ～ 桜前線 ～

3月になると天気予報の中で「桜前線」という言葉をよく聞くようになります。桜前線とはサクラの開花予想日を地図上に示した線で、主に3月下旬から5月にかけて日本を北上します。満開のサクラの下での宴「花見」が大好きな日本人は、天気予報で近づいてくる桜前線を確認し心躍らせます。

以前は気象庁が発表する開花予想を桜前線と呼んでいましたが、昨年2010年からは民間の気象情報会社だけが予想を発表するようになりました。民間の会社は他社より予想の精度を上げ開花日を的中させようと、例えば日本各地の一般の人々からつぼみの状態のサクラの写真を送ってもらうなど、従来の算出方法だけではない新たな方法で開花日を予想しています。最近では各社で予想日にズレが起き混乱することもあります。サクラがいつ咲くかにこれほど熱心なのは日本ならではでしょう。

さて来月号から始まる「日本的气象」コーナーでは、四季折々の日本的气象に関する言葉を紹介しますので、お楽しみに。

心を伝える日本語 ～ 意志を伝える日本語 ～

皆さんは日本に来て技術を学ぶと同時に、異文化社会の中で生活をしているわけですが、大変なご苦労があると思います。一番の苦労は言葉の問題ではないでしょうか。言葉の壁を乗り越えるのは並大抵のものではありません。

技術・作業手順などを学ぶ時や生活指導を受ける時などに、技能実習指導員・生活指導員から、「わかりましたか?」と聞かれた時、分からなければ「わかりません」「何ですか?」「もう一度言ってください」と、はっきり言うことが大切です。

分かっているのに「はい」と答えると、相手は理解したものと受け取ってしまい、誤解が大きな問題やストレスを引き起こします。

全てのことにおいて、自分の意志をはっきり伝えるようにしてください。決して恥ずかしいことはありません。日本には、『聞くは一時(いっとき)の恥、聞かぬは末代(まつだい)の恥』という諺もあります。意志の疎通は日本人同士でも大事なことで、意思疎通を図る為に、お互い努力しています。